

平成24年度パンフレット類の作成について（報告）

1 事業目的

区では、循環型社会の実現のため、3R「発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）」を推進しています。その一環として資源とごみの適正排出と分別について普及啓発をはかり、印刷物を作成・配布しています。平成24年度は新たに次の3件の印刷物を作成しました。

2 内容

	タイトル・内容など	部数	配布方法
1	「目黒区 資源とごみの分け方出し方」：転入者用パンフレット(充実版) 資源とごみの適正分別・排出について普及啓発を図るため、既存の転入者向けパンフレットの内容を見直した。表紙ページに切り取り線を入れ、切り離して身近な場所で活用できるようにし、本紙部分には問い合わせが多かった情報の追加や補足説明を加える等で、より詳細な内容とした。	30,000	各地区サービス事務所、行政サービス窓口、清掃事務所、清掃リサイクル課の窓口配布
2	「へんしーん！ペットボトルのリサイクル」：子ども用パンフレット(低学年用) ごみを作り出さない意識や資源のリサイクルに対する興味や関心を、年齢の早い時期から培うため、小学校低学年向け（2年）に、資源（ペットボトル）のリサイクルをテーマにして漫画表現などを取入れたパンフレットを作成した。今まで作成してきた未就学児向け紙芝居や子ども向けパンフレット（4年用）などと連続性・継続性を持たせ、ごみの減量への理解を深めることをねらいとした。	2,000	各区立小学校を通し、2年生児童に配布
3	「ペーパークラフト 小型プレス車 角2封筒付き」：未就学児向け 未就学児がペーパークラフトの清掃車を自分で作ることでごみの収集などへの興味を喚起し、小学生の環境学習（ごみの減量・資源のリサイクル）へつなぐきっかけとする。また、ペーパークラフトを入れる封筒には、清掃車の役割とごみ減量キャラクターのぬりえを記載して楽しみながら自然に興味を持ってもらえるように工夫した。	2,000	出張講座による環境学習の場で配布

3 周知方法

- (1) 区のHPに掲載
- (2) 各イベントや総合庁舎西口ロビーのパネル展示

以 上

【参考】

目黒区世論調査(平成22年10月発行)では、資源のリサイクルやごみの減量をさらに進めるため、区民の皆さんに関心を持ってもらう有効な施策は何だと思いませんか?」の問いに対して、「学校や幼稚園などで小さいときからごみの減量やリサイクルについて教える」が76.6%で最も多い回答だった。

目黒区廃棄物減量等推進審議会(平成22年12月1日開催)の中で、環境学習については、特に若い世代での教育が大切だと考える 筈の発言があった。